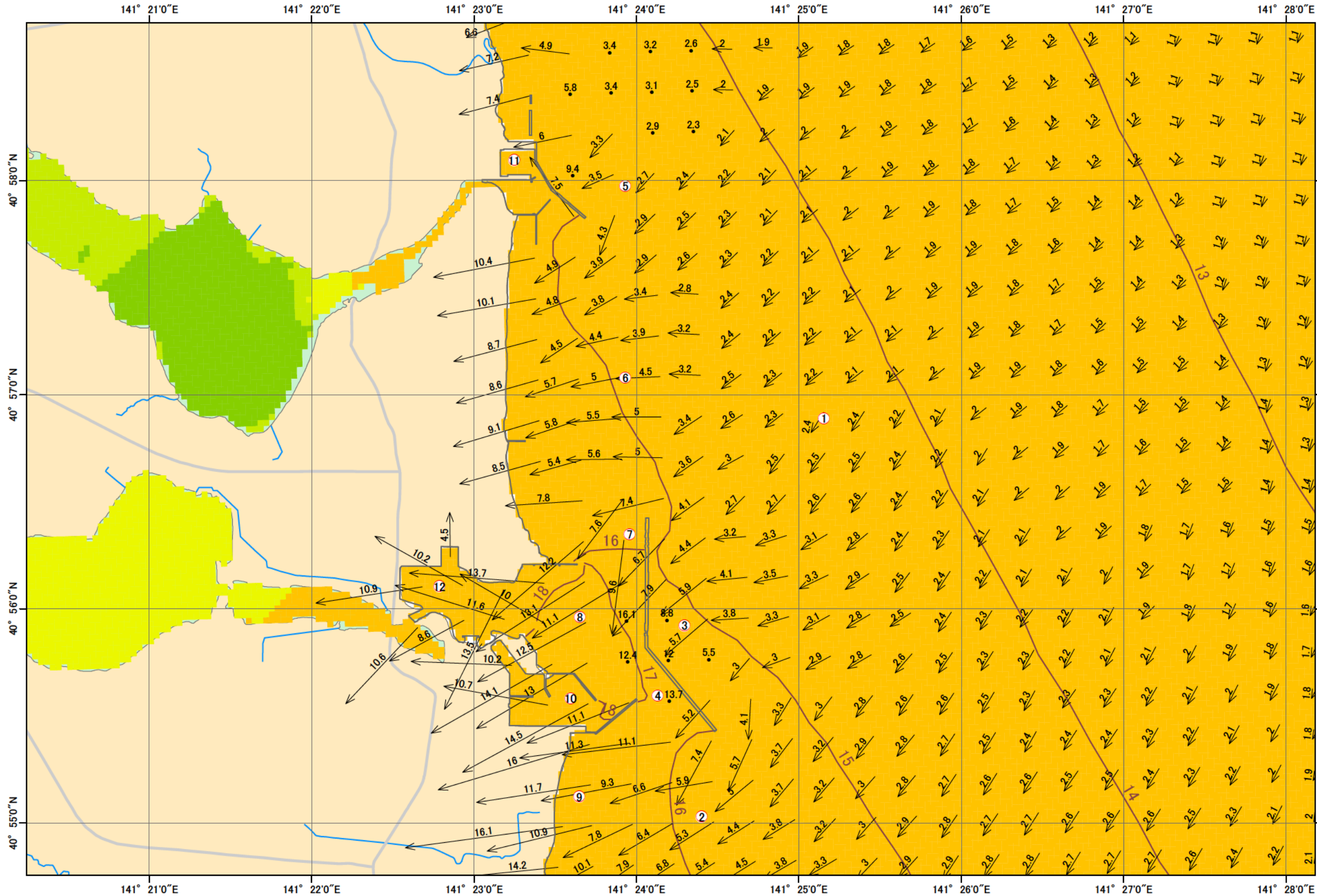




計算条件： 最高水面 (零位)
 隆起量： 平均 -1.02m(-0.93 ~ -1.11m)
 Zo： 0.85m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

- 最大水位上昇
- 5m以上
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

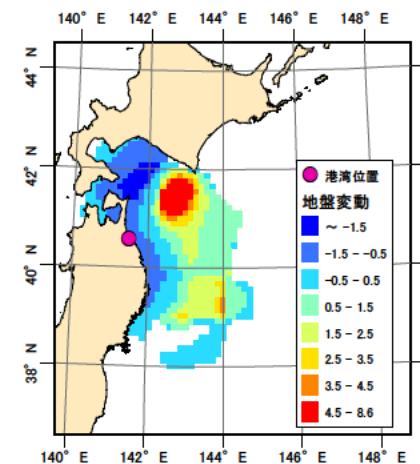
○ No. 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点をもとに算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

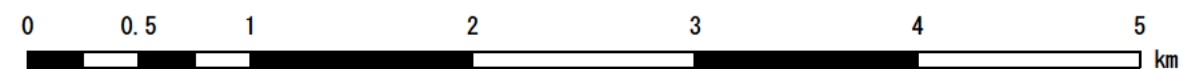
断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)地震

モーメントマグニチュード M_w	9.1
--------------------	-----

○ 本図の作成にあたっては、"津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)" を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))



本断層モデルは内閣府の「日本海溝・千島海溝巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和 3年11月 (初版)
 地形データ作成年月：令和 3年 3月 (初版)